

生きて在ることの

静かな明るさ



詩人は言う。

「生活を現代詩の文脈において、また現代詩を生活の文脈において、どうしても肯定しなければならなかった」

詩人は言う。

「詩を書くことは犠牲が大きすぎる」

それでも詩人は言う。

「絶望するな」と。

詩人・岸田将幸の足跡を本人所蔵の資料で辿りながら、「未来の時間」について考えたい。

第29回萩原朔太郎賞受賞者
岸田将幸展

2022年

2/5 | 土 | - 5/8 | 日 |



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10
TEL.027-235-8011 FAX.027-235-8512
<https://www.maebashibungakukan.jp>



前橋文学館
HP



公式YouTube
チャンネル

デザイン STUDIO VISION 居城達志



萩原朔太郎
大全2022

生きて在ることの静かな明るさ

第29回萩原朔太郎賞受賞者

岸田将幸展

2022年

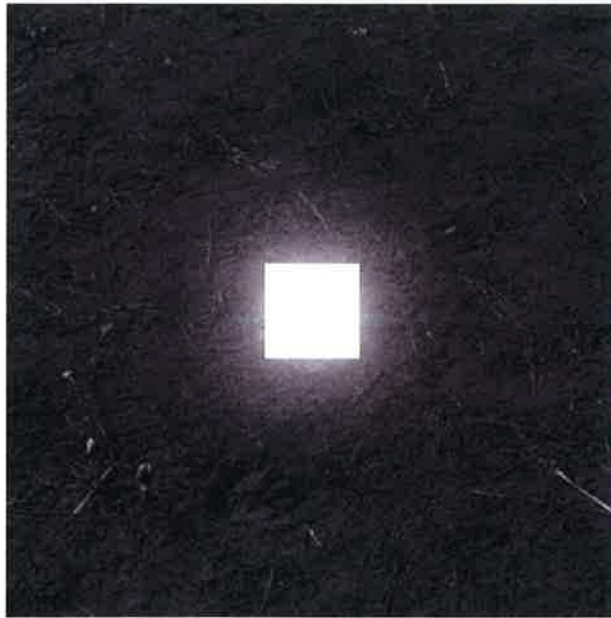
2/5(土) - 5/8(日)



- 開館時間: 9時～17時(入館は30分前まで)
- 休館日: 水曜日、2月24日(木)、5月6日(金)
※2月23日(水・祝)、5月4日(水・祝)は開館
- 会場: 前橋文学館 2階展示室
- サテライト・パネル展示: 東和銀行本店、前橋市立図書館、前橋市役所
- 観覧料: 一般400円
※高校生以下無料 ※障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名無料
※朔太郎展示室もご覧になれます
- 観覧無料の日: 2月5日(土)、5月8日(日)
- 展示解説日: 3月26日(土)、4月17日(日)
①10時～ ②15時～ ※各回約30分 ※申込不要
- 協力: 新潮社、東和銀行

※感染症対策を実施しています。ご理解とご協力をお願いいたします。

萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち
前橋文学館



岸田将幸

Masayuki Kishida

1979年愛媛県生まれ。詩人、農家。
『風の領分』(書肆子午線、2021年)で第29回萩原朔太郎賞受賞。詩集に『生まれなために』(七月堂)、『死期盲』(思潮社)、『丘の陰に取り残された馬の群れ』(ふらんす堂)、『(孤絶-角)』(思潮社、第40回高見順賞受賞)、『亀裂のオントロジー』(思潮社、第6回鮎川信夫賞受賞)がある。
また評論集に『詩の地面 詩の空』(五柳書院)、共著に『吉本隆明論集』(アーツアンドクラフツ)、『半島論』(響文社)などがある。

記念イベント 岸田将幸『風の領分』を読む
2022年3月5日(土) 14時開演(開場13時30分)

出演: 萩原朔美、渡原美佐、生方保光、大月伸昭、亀井優、山屋寿徳(ピアノ)
会場: 3階ホール
先着50名 ※要予約 ※当日有効の展示観覧券をお持ちください
申込方法: 2月5日(土)より電話(027-235-8011)にて受付開始

記念イベント 鼎談「詩、からだ、未来」(仮称)
2022年4月30日(土) 14時開演(開場13時30分)

出演: 岸田将幸(詩人、第29回受賞者)、藤原安紀子(詩人)、中尾太一(詩人)
会場: 3階ホール
先着50名 ※要予約 ※当日有効の展示観覧券をお持ちください
申込方法: 3月26日(土)より電話(027-235-8011)にて受付開始

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によって、開催や内容が変更となる場合があります。
ご来館の際は、事前にホームページをご覧ください。お電話でお問い合わせください。



■展覧会情報
詩人の故郷、愛媛で展覧会が開催されます。
口笛/封印
現代美術家 矢原繁長 + 詩人 岸田将幸
会期: 2022年3月19日(土) - 5月22日(日)
会場: 町立久方美術館 展示室3
愛媛県上浮穴郡久方高原町菅生2-1-4(127)
<https://www.kunakogon.jp/shiemanet/>



■文学館同時期開催
雨月衣のいとおいき世界展
会期: 2022年2月19日(土) - 5月15日(日)
会場: 3階オーブンギャラリー / 観覧無料



アクセス(交通案内)
電 車: JR前橋駅から徒歩約20分、上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩5分
自動車: 関越自動車道 前橋ICから車で約15分
※広瀬川サンワパーキング(市営P域東)のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたします。